

対象校No. 134
注4

学校コード F129110109215
注3

設置年度 令和 4年度

計画の区分： 学部設置
注1

意見伺い

注2
奈良女子大学 工学部 工学科 (必要がある場合) ○○専攻

【認可】 設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正前大学設置基準適用)

国立大学法人奈良国立大学機構 奈良女子大学
令和6年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名	企画課
職名・氏名	ケイエイクカクカリチョウ ヒラオ タカヒサ 経営企画係長 平尾 隆久
電話番号	0742-20-3692
(夜間)	2742-20-3692
e-mail	hyoka@jimn.nara-wu.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「○○大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) ○○大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学の設置の場合：「○○大学」
- ・学部の設置の場合：「○○大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「○○大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「○○短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合：「○○大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「○○大学大学院 ○○研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「○○大学大学院 ○○研究科 ○○専攻(修士課程)」
- ・通信教育課程の開設の場合：「○○大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

4 対象校No.については、「【別紙】令和6年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

工学部

<工学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	4
3. 施設・設備の整備状況、経費	16
4. 既設大学等の状況	17
5. 教員組織の状況	18
6. 附帯事項等に対する履行状況等	42
7. その他全般的事項	43

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 奈良国立大学機構

(2) 大学名

奈良女子大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒630-8506

奈良県奈良市北魚屋西町（奈良県奈良市北魚屋東町）

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(サカキ ヒロユキ) 榊 裕之 (令和4年4月)	—	
学長	(イマオカ ハルキ) 今岡 春樹 (令和4年4月)	(タカダ マサシ) 高田 将志 (令和6年4月)	任期満了に伴う学長の交代 令和6年4月1日 (6)
学部長	(フジタ メイジ) 藤田 盟児 (令和4年4月)	—	
学科長等	(フジタ メイジ) 藤田 盟児 (令和4年4月)	—	

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（ ）書きで記入してください。

(例) 令和5年度に報告済の内容 → (5)

令和6年度に報告する内容 → (6)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学生員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位「大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」」のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、令和元年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和6年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「留學」の留資格(いわゆる「留學ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) 一① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員		
工学部 工学科 学士(工学)	文学関係 教育学・保育学関係 法学関係 経済学関係 社会学・社会学関係	4年	45人	2年次 0人 3年次 10人 4年次 0人	200人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) 一② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		春季入学以外の学期区分について	收容定員充足率	收容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []										
志願者数	() []	284 () []	() []	204 () []	() []	() []	223 () []									
受験者数	() []	202 () []	() []	136 () []	() []	() []	139 () []		1.08倍	1.08倍						
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []										
B 入学者数	() []	48 () []	() []	48 () []	() []	() []	52 () []									
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	1.06	1.06	1.06	1.06	1.06	1.16 (1.00)				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度前は「-」を記入してください。
- ・ ()内には、編入学の状況について外敷で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合は、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内敷で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択してください。(春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択。)
- ・ 「收容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の收容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33收容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の收容定員充足率を記載してください。
- ・ 「收容定員充足率(控除後)」には、「收容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「收容定員充足率」を記入してください。なお、「收容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
- ・ 「(5) 一② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「收容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC調査学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) 一③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	() []	() []	() []	() []	() []	() []	令和6年度(新入学52、3年次編入学10)						
2年次	() []	() []	() []	() []	() []	() []							
3年次	() []	() []	() []	() []	() []	() []							
4年次	() []	() []	() []	() []	() []	() []							
計	() []	48 () []	96 () []	96 () []	96 () []	158 () []	158 () []						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、内敷で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ ()内には、留学生の状況について、内敷で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和元年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	48 人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	96 人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
令和6年度	158 人	0 人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	0 人	0 人	
			令和6年度	0 人	0 人	
合計		0 人		0 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{48} = \boxed{0} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{96} = \boxed{0} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{158} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<工学部 工学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教	助手	
基礎科目群	コンプレックス・イングリッシュ	1前-後	1								1
	プラクティカル・イングリッシュ	1前-後	1								1
	アカデミック・イングリッシュ	2前-後	1								1
	プレゼンテーション・イングリッシュ	2前-後	1								1
	ドイツ語 I A	1前-後	1								1
	ドイツ語 I B	1前-後	1								1
	ドイツ語 II A	2前-後	1								1
	ドイツ語 II B	2前-後	1								1
	ドイツ語 III	2前-後	1								1
	ドイツ語 IV	2前-後	1								1
	フランス語 I A	1前-後	1								1
	フランス語 I B	1前-後	1								1
	フランス語 II A	2前-後	1								1
	フランス語 II B	2前-後	1								1
基礎科目群	フランス語 III	2前-後	1								1
	フランス語 IV	2前-後	1								1
	中国語 I	1前-後	1								1
	中国語 II	2前-後	1								1
	中国語 III	2前-後	1								1
	中国語 IV	2前-後	1								1
	健康運動実習 I	1前	1								1
	健康運動実習 II	1後	1								1
	スポーツ実習	2前	1								1
	情報処理入門 I	1前	2								1
	情報処理入門 II	2後	2								1
	「奈良」女子大学入門	1前	2								1
	これからの社会で生きるために	3通	1								1
	バサージュ	1前	1								1
基礎科目群	アジア学入門	1前	2								1
	アラビアの言語と文化	1後	2								1
	現代の倫理	1前	2								1
	歴史学	1前	2								1
	日本の言語と文学	1前	2								1
	ことばのしくみ	1後	2								1
	ことばと文化	1前	2								1
	日本の美と芸術	1前	2								1
	人類史	1前	2								1

【令和6年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教	助手			
基礎科目群	コンプレックス・イングリッシュ	1前-後	1									6	
	プラクティカル・イングリッシュ	1前-後	1									10	
	アカデミック・イングリッシュ	2前-後	1									2	
	プレゼンテーション・イングリッシュ	2前-後	1									3	
	ドイツ語 I A	1前-後	1									2	
	ドイツ語 I B	1前-後	1									1	
	ドイツ語 II A	2前-後	1									2	
	ドイツ語 II B	2前-後	1									1	
	ドイツ語 III	2前-後	1									1	
	ドイツ語 IV	2前-後	1									1	
	フランス語 I A	1前-後	1									2	
	フランス語 I B	1前-後	1									1	
	フランス語 II A	2前-後	1									2	
	フランス語 II B	2前-後	1									1	
基礎科目群	フランス語 III	2前-後	1									1	
	フランス語 IV	2前-後	1									1	
	スペイン語初級 I	1前	1									1	
	スペイン語初級 II	1後	1									1	
	スペイン語中級 I	2前	1									1	
	スペイン語中級 II	2後	1									1	
	中国語 I	1前-後	1									3	
	中国語 II	2前-後	1									3	
	中国語 III	2前-後	1									1	
	中国語 IV	2前-後	1									1	
	中国語検定初級 I	1前	1									1	
	中国語検定初級 II	1後	1									1	
	中国語検定中級 I	2前	1									1	
	中国語検定中級 II	2後	1									1	
基礎科目群	ロシア語初級 I	2前	1									1	
	ロシア語初級 II	2後	1									1	
	ロシア語中級 I	2前	1									1	
	ロシア語中級 II	2後	1									1	
	韓国語初級 I	1前	1									1	
	韓国語初級 II	1後	1									1	
	韓国語中級 I	2前	1									1	
	韓国語中級 II	2後	1									1	
	健康運動実習 I	1前	1									6	
	健康運動実習 II	1後	1									6	
	スポーツ実習	2前	1									3	
	情報処理入門 I	1前	2									1	
	情報処理入門 II (未開講)	2後	2									1	
	情報基礎 (未開講)	1後	2			1						1	
基礎科目群	「奈良」女子大学入門	1前	2									1	
	考える力をみがく	2後	2									1	
	これからの社会で生きるために	3通	1				1					1	
	「進学への願い」	1前	1									1	
	バサージュ	1前	1									16	
	基礎科目群	アジア学入門	1前	2									5
		アラビアの言語と文化	1後	2									1
		ベトナムの言語と文化	1後	2									1
		哲学の歴史	1後	2									1
		現代の倫理	1前	2									1
		現代宗教学への招待	1前	2									1
		心の科学への招待	1前	2									1
		社会と文化の心理学	1後	2									1
		歴史学	1前	2									1
日本の言語と文学		1前	2									1	
ことばのしくみ		1前	2									1	
ことばと文化 (未開講)		1前	2									1	
朝鮮の言語と文化 (未開講)		1後	2									1	
日本の美と芸術		1前	2									1	
西洋の美と芸術	1後	2									1		
音楽概説	1後	2									1		
地域の人と暮らし	1前	2									1		
人類史	1前	2									1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目	人間と文化	考古科学ゼミ	1前	2								1
		古典を読むⅠ	3後	2								1
		古典を読むⅡ	3後	2								1
	生活と社会	環太平洋くろしお文化論	1後	2								1
		日本国憲法	1前	2								1
		人権と差別	1後	2								1
		ジェンダー論入門	1前	2								1
		なら学	1前	2								1
		なら学+(プラス)	1後	2								1
	人間と自然	社会学	1後	2								1
		いのちと健康	1前	2								1
		生活と健康	1後	2								1
		共生科学	1後	2		1						1
		生活の中の物理学	1後	2								1
		化学の常識	1後	2		1						1
環境と生物		1後	2								1	
健康・スポーツ科学		1後	2								1	
生命・運動・健康		1前	2								1	
人体科学		1後	2		1	1		1			1	
小計(56科目)		-	2	85	0	2	1	0	1	0	0	34
工学部専門教育科目		基幹必修科目	微分積分	1								
	線形代数		1									1
	確率・統計		1									1
	情報学概論		2									1
	プログラミング基礎		2				1					
	プログラミング実践		2				1					
	電子工学		2				1					
	計測工学概論		1				1					
	機械工学概論		1				1					
	先端設計生産工学		1				1					1
	生体基礎		1			1						
	物理基礎		1				1					1
	化学基礎	1			1							
	創造とデザインの理論	1			1							
	造形基礎演習Ⅰ	2			2	1					2	
	自己プロデュースⅠ	1									1	
	自己プロデュースⅡ	1									1	
	批判的思考Ⅰ	2			1						9	
技術者倫理	2									1		
エンジニアリングビジネス概論	1			1						1		
エンジニアリング演習(PBL)	1			1		1				1		
価値創造体験演習(PBL)	1			1	1					1		
小計(22科目)	-	29	0	0	6	1	2	0	0	0	18	
基幹発展科目	応用線形代数	2			1							
	多変量解析	1			1							
	離散数学	2									1	
	アナログ回路	1			1							
	デジタル回路	1			1							
	知能ロボット	2									4	
技術史	1			1						2		
人間工学	2			1								

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目	人間と文化	考古科学ゼミ(未開講)	1前	2								1
		古典を読むA	3後	2								3
		古典を読むB	3後	2								1
	生活と社会	環太平洋くろしお文化論	1後	2								6
		自然環境の地理学(未開講)	1後	2								1
		自然と都市-20世紀より現代まで-	1前	2								1
		日本国憲法	1前	2								1
		人権と差別	1後	2			2					2
		ジェンダー論入門	1前	2								5
		なら学	1前	2								6
		なら学+(プラス)	1後	2								1
		社会学	1後	2								1
		法律学	1前	2								1
		政治学	1前	2								1
		国際関係論	1後	2								1
経済学	1後	2								1		
統計学	1前	2								1		
女性リーダー論(未開講)	1前	2								1		
奈良を知る	1後	1									1	
人間と自然	いのちと健康	1前	2								1	
	生活と健康	1後	2								1	
	共生科学	1後	2			1					4	
	自然環境の地理学(未開講)	3前	1								1	
	農業としての自然科学A	3前	1								5	
	農業としての自然科学B	3後	1								5	
	アメリカ学生研修SEAS&H	1通	2			1					1	
	数学入門	1後	2								1	
	生活の中の物理学	1後	2								1	
	化学の常識	1後	2			1					1	
	環境と生物	1後	2								1	
	農業としての自然科学(未開講)	3前	1								1	
ジェンダー生理学	1前	2								1		
固体地球環境学入門	1後	2								1		
科学史	1後	2								1		
生活と色彩	1前	2								1		
健康・スポーツ科学	1後	2								6		
人体科学	1後	2					2		1	1		
ペーシックサイエンスⅠ	1前	2								1		
ペーシックサイエンスⅡ(未開講)	1後	2								1		
小計(104科目)	-	2	201	0	7	0	1	0	0	0	108	
工学部専門教育科目	基幹必修科目	微分積分	1									1
		線形代数	1									1
		確率・統計	1									1
		情報学概論	2									1
		プログラミング基礎	2				1					
		プログラミング実践	2				1					
		電子工学	2				1					
		計測工学概論	1				1					
		機械工学概論	1				1					
		先端設計生産工学概論	1				1					1
		生体基礎	1			1						5
		物理基礎	1				1					2
	化学基礎	1			1							
	創造とデザインの理論	1			1							
	造形基礎演習Ⅰ	2			2	1					2	
	自己プロデュースⅠ	1						3			1	
	自己プロデュースⅡ	1									1	
	批判的思考Ⅰ	2			1						7	
技術者倫理	2									1		
エンジニアリングビジネス概論	1			1						1		
エンジニアリング演習(PBL)	1			1		1				1		
価値創造体験演習(PBL)	1			1	1					1		
小計(22科目)	-	29	0	0	7	1	1	0	0	0	18	
基幹発展科目	応用線形代数	2			1							
	多変量解析	1			1							
	離散数学	2									1	
	アナログ回路	1			1							
	デジタル回路	1			1							
	知能ロボット	2									4	
技術史	1			1						2		
人間工学	2			1								

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担
			必修	選択	自由	准教授	講師	助教	助手	
基幹科目群	機械力学	1-2	2							1
	熱力学	1-2	2							1
	電磁気学	1-2	2							1
	流体力学	1-2	2							1
	材料力学	1-2	2							1
	基礎生理学	1-2	2	1						
	物理化学	1-2	2	1						
	有機化学	1-2	2	1						
	物理化学実験	1-2	1		1					
	造形基礎演習Ⅱ	1-2	2	1	1					2
	批判的思考Ⅱ	1-2	1	1						7
	歴史文化工学	1-2	2							1
	技術と理念の日本美術史	1-2	2							1
	植物生産学	1-2	2							1
	イノベーション演習	1-2	1							1
情報ビジネス	1-2	2	1							
起業論	1-2	1							1	
小計(25科目)	—	30	42	0	9	2	0	0	0	25
工学部専門教育科目	最適化	1-2	2							1
	パターン認識	1-2	2	1						
	センサ工学	1-2	2	1	1					
	メディア工学演習	1-2	2	1						
	生活支援と福祉工学	1-2	2		1					
	信頼性工学	1-2	1	2						
	先端設計生産工学	1-2	2							1
	医工学概論	1-2	2	1	1					
	認知神経科学	1-2	2		1					
	生体計測基礎実習	1-2	2	2	1	1				
	感性工学	1-2	1	1						
	物性工学	1-2	2							1
	高分子構造	1-2	2	1						
	無機化学	1-2	2	1						1
	機器分析化学	1-2	2		1					
応用物理化学実験	1-2	2		1						
有機・無機化学実験	1-2	2	1						1	
建築環境工学	1-2	2	1							
都市・建築デザイン	1-2	2		1						
環境・防災科学	1-2	2							1	
プロジェクト・マネジメント	1-2	2	1							
エンジニアリングビジネス	1-2	1								
プレゼミナール	1-2	2	9	3	2	1				
コンセプトアルデザイン演習(PBL)	1-2	2	1	1					1	
ユーザー指向開発	1-2	2	2							
社会改善起業演習	1-2	2	1	1					2	
小計(26科目)	—	2	47	0	9	3	2	1	0	7
専門応用科目	関係データ分析	1-2	2	1						
	五感情報設計演習	1-2	2		1					
	ヒューマンインターフェース	1-2	2	2						4
	先端設計生産工学	1-2	2							1
	ヘルスプロモーション	1-2	2	1						
	ヒューマンキネティクス	1-2	2			1				
	生体機能学	1-2	2	1						
	生体医学演習	1-2	2	1	1		1			
	有機工業化学	1-2	2	1						
	高分子材料学	1-2	2	1						
	機能性高分子化学	1-2	2							1
	機能性有機材料化学	1-2	1							1
	環境人間工学演習	1-2	2	1						
	プロダクトデザイン	1-2	2	1						1
	建築都市発展演習Ⅰ	1-2	3	1	1					
建築都市発展演習Ⅱ	1-2	3	1	1						
芸術文化発展演習	1-2	2	2							
河川・海岸工学	1-2	2							1	
プロジェクト・デザイン	1-2	2	1							
コミュニケーション工学	1-2	1							1	
卒業研究Ⅰ	3後	3		8	3	2	1			
卒業研究Ⅱ	4前	3		8	3	2	1			
卒業研究Ⅲ	4後	3		8	3	2	1			
小計(23科目)	—	9	40	0	9	3	2	1	0	10
小計(152科目)	—	42	131	0	9	3	2	1	0	71

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担
			必修	選択	自由	准教授	講師	助教	助手	
基幹科目群	機械力学	1-2	2							1
	熱力学	1-2	2							1
	電磁気学	1-2	2							1
	流体力学	1-2	2							1
	材料力学	1-2	2							1
	基礎生理学	1-2	2	1						
	物理化学	1-2	2		1					
	有機化学	1-2	2	1						
	物理化学実験	1-2	1		1					
	造形基礎演習Ⅱ	1-2	2	2						2
	批判的思考Ⅱ	1-2	1	1						6
	歴史文化工学	1-2	2							1
	技術と理念の日本美術史	1-2	2							1
	植物生産学	1-2	2							1
	イノベーション演習	1-2	1							1
情報ビジネス	1-2	2	1							
起業論	1-2	1							1	
小計(25科目)	—	30	42	0	9	1	0	0	0	24
工学部専門教育科目	最適化	1-2	2							1
	パターン認識	1-2	2	1						
	センサ工学	1-2	2	1	1					
	メディア工学演習	1-2	2	1						
	生活支援と福祉工学	1-2	2		1					
	信頼性工学	1-2	1	2						
	先端設計生産工学Ⅰ	1-2	1							5
	医工学概論	1-2	2	2						
	生体力学	1-2	2		1					
	認知神経科学	1-2	2	1						
	生体計測基礎実習	1-2	2	3	1					
	感性工学	1-2	1	1						
	物性工学	1-2	2							1
	高分子構造	1-2	2	1						
	無機化学	1-2	2		1					
機器分析化学	1-2	2		1						
有機化学演習	1-2	2				1				
応用物理化学実験(未開講)	1-2	2		1						
有機・無機化学実験	1-2	2	1						1	
建築環境工学	1-2	2	1							
都市・建築デザイン	1-2	2	1							
建築一般構造学	1-2	2							1	
建築施工学(未開講)	1-2	2								
環境・防災科学	1-2	2							1	
プロジェクト・マネジメント	1-2	2	1							
エンジニアリングビジネス演習	1-2	1								
プレゼミナール	1-2	2	10	3	2	1				
コンセプトアルデザイン演習(PBL)	1-2	2	2						1	
ユーザー指向開発演習(PBL)	1-2	2	2							
社会改善起業演習(PBL)	1-2	2	2						2	
小計(30科目)	—	2	54	0	11	3	2	1	0	9
専門応用科目	関係データ分析	1-2	2	1						
	五感情報設計演習	1-2	2		1					
	ヒューマンインターフェース演習	1-2	2	2						4
	先端設計生産工学Ⅱ	1-2	2							5
	ヘルスプロモーション	1-2	2	1						
	ヒューマンキネティクス	1-2	2			1				
	生体機能学	1-2	2	1						
	生体医学演習	1-2	2	2		1				
	有機工業化学	1-2	2	1						
	高分子材料学	1-2	2	1						
	機能性高分子化学	1-2	2							1
	機能性有機材料化学	1-2	1							1
	電気化学	1-2	2		1					
	環境人間工学実習	1-2	2	1						
	プロダクトデザイン演習	1-2	3	2						1
建築都市発展演習Ⅰ	1-2	3	1							
建築都市発展演習Ⅱ	1-2	3	2							
建築構造力学	1-2	3							1	
建築生産学	1-2	1							1	
建築法規	1-2	1							1	
芸術文化発展演習	1-2	2	2							
河川・海岸工学	1-2	2							1	
プロジェクト・デザイン演習	1-2	2	1							
コミュニケーション工学	1-2	1							1	
卒業研究Ⅰ	3後	3		10	3	2	1			
卒業研究Ⅱ(未開講)	4前	3		10	3	2	1			
卒業研究Ⅲ(未開講)	4後	3		10	3	2	1			
小計(27科目)	—	9	47	0	11	3	2	1	0	15
小計(208科目)	—	72	344	0	11	3	2	1	0	162

卒業要件及び履修方法
<p>【教養教育科目】30単位以上</p> <p>1. 基礎科目群 12単位以上(下記を含む)</p> <p>(a)外国語科目 8単位必修(英語、ドイツ語、フランス語、中国語から8単位。ただし、英語は4単位以上)</p> <p>※各英語科目については、前後期各1単位、合計2単位まで履修できる。</p> <p>(b)保健体育科目 2単位必修(「健康運動実習Ⅰ」1単位、「健康運動実習Ⅱ」1単位)</p> <p>※編入学生については、「スポーツ実習」の単位で代えることができる。</p> <p>2. 教養科目群 18単位以上</p> <p>なお、基礎科目群で12単位を超過した単位は教養科目群の単位に代えることができる。</p> <p>【工学部専門教育科目】80単位以上</p> <p>3. 基幹科目群 42単位以上(下記を含む)</p> <p>(a)基幹必修科目 29単位(必修)</p> <p>(b)基幹発展科目 13単位以上</p> <p>4. 専門科目群 38単位以上(下記を含む)</p> <p>専門基礎科目、専門応用科目から36単位以上(下記を含む)</p> <p>(a)「コンセンチュアルデザイン演習(PBL)」、「ユーザー指向開発演習(PBL)」、「社会改善起業演習(PBL)」から2科目4単位以上選択必修</p> <p>(b)「プレゼンタル」 2単位必修</p> <p>(c)「卒業研究Ⅰ」、「卒業研究Ⅱ」、「卒業研究Ⅲ」 各3単位 計9単位必修</p> <p>5. 卒業単位 124単位以上</p> <p>上記教養教育科目30単位以上、工学部専門教育科目80単位以上を含め、124単位以上を卒業要件とする。</p> <p>なお、他学部開講科目及び他大学開講科目で履修を許可され修得した単位については、卒業要件に算入できるのは14単位以内とする。</p> <p>(履修科目の登録上限 48単位(年間))</p>

卒業要件及び履修方法
<p>【教養教育科目】30単位以上</p> <p>1. 基礎科目群 12単位以上(下記を含む)</p> <p>(a)外国語科目 8単位必修(英語、ドイツ語、フランス語、中国語から8単位。ただし、英語は4単位以上)</p> <p>※各英語科目については、前後期各1単位、合計2単位まで履修できる。</p> <p>(b)保健体育科目 2単位必修(「健康運動実習Ⅰ」1単位、「健康運動実習Ⅱ」1単位)</p> <p>※編入学生については、「スポーツ実習」の単位で代えることができる。</p> <p>2. 教養科目群 18単位以上</p> <p>なお、基礎科目群で12単位を超過した単位は教養科目群の単位に代えることができる。</p> <p>【工学部専門教育科目】80単位以上</p> <p>3. 基幹科目群 42単位以上(下記を含む)</p> <p>(a)基幹必修科目 29単位(必修)</p> <p>(b)基幹発展科目 13単位以上</p> <p>4. 専門科目群 38単位以上(下記を含む)</p> <p>専門基礎科目、専門応用科目から36単位以上(下記を含む)</p> <p>(a)「コンセンチュアルデザイン演習(PBL)」、「ユーザー指向開発演習(PBL)」、「社会改善起業演習(PBL)」から2科目4単位以上選択必修</p> <p>(b)「プレゼンタル」 2単位必修</p> <p>(c)「卒業研究Ⅰ」、「卒業研究Ⅱ」、「卒業研究Ⅲ」 各3単位 計9単位必修</p> <p>5. 卒業単位 124単位以上</p> <p>上記教養教育科目30単位以上、工学部専門教育科目80単位以上を含め、124単位以上を卒業要件とする。</p> <p>なお、他学部開講科目及び他大学開講科目で履修を許可され修得した単位については、卒業要件に算入できるのは14単位以内とする。</p> <p>(履修科目の登録上限 48単位(年間))</p>

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	記当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目	基礎科目群	コンプレキシブ・イングリッシュ	1前-後	1							6	
		ブラクティカル・イングリッシュ	1前-後	1							10	
		アカデミック・イングリッシュ	2前-後	1							2	
		プレゼンテーション・イングリッシュ	2前-後	1							3	
		ドイツ語 I A	1前-後	1							2	
		ドイツ語 I B	1前-後	1							1	
		ドイツ語 II A	2前-後	1							2	
		ドイツ語 II B	2前-後	1							1	
		ドイツ語 III	2前-後	1							1	
		ドイツ語 IV	2前-後	1							1	
		フランス語 I A	1前-後	1							2	
		フランス語 I B	1前-後	1							1	
		フランス語 II A	2前-後	1							2	
		フランス語 II B	2前-後	1							1	
		フランス語 III	2前-後	1							1	
		フランス語 IV	2前-後	1							1	
		外国語科目	中国語 I	1前-後	1							2
		中国語 II	2前-後	1							1	
		中国語 III	2前-後	1							1	
		中国語 IV	2前-後	1							1	
		中国語検定初級 I	1前	1							1	
		中国語検定初級 II	1後	1							1	
		中国語検定中級 I	2前	1							1	
		中国語検定中級 II	2後	1							1	
		スペイン語初級 I	1前	1							1	
		スペイン語初級 II	1後	1							1	
		スペイン語中級 I	2前	1							1	
		スペイン語中級 II	2後	1							1	
		ロシア語初級 I	2前	1							1	
		ロシア語初級 II	2後	1							1	
		ロシア語中級 I	2前	1							1	
		ロシア語中級 II	2後	1							1	
		韓国語初級 I	1前	1							1	
		韓国語初級 II	1後	1							1	
		韓国語中級 I	2前	1							1	
		韓国語中級 II	2後	1							1	
		保健体育科目	健康運動実習 I	1前	1							2
		健康運動実習 II	1後	1							2	
		スポーツ実習	2前	1							1	
		情報処理科目	情報処理入門 I	1前	2							3
情報処理入門 II	2後	2							1			
大学「奈良」女子大学入門	1前	2							1			
考える力をみがく	2後	2							1			
これからの社会で生きるために	3通	1							3			
語学への誘い	1前-後	1							10			
パサージュ	1前	1							17			
人文学	部落史と部落問題	1前	2							2		
人間と文化	アジア学入門	1前	2							8		
アラビアの言語と文化	1後	2							1			
ベトナムの言語と文化	1後	2							1			

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	記当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目	基礎科目群	コンプレキシブ・イングリッシュ	1前-後	1							6	
		ブラクティカル・イングリッシュ	1前-後	1							10	
		アカデミック・イングリッシュ	2前-後	1							2	
		プレゼンテーション・イングリッシュ	2前-後	1							3	
		ドイツ語 I A	1前-後	1							2	
		ドイツ語 I B	1前-後	1							1	
		ドイツ語 II A	2前-後	1							2	
		ドイツ語 II B	2前-後	1							1	
		ドイツ語 III	2前-後	1							1	
		ドイツ語 IV	2前-後	1							1	
		フランス語 I A	1前-後	1							2	
		フランス語 I B	1前-後	1							1	
		フランス語 II A	2前-後	1							2	
		フランス語 II B	2前-後	1							1	
		フランス語 III	2前-後	1							1	
		フランス語 IV	2前-後	1							1	
		外国語科目	スペイン語初級 I	1前	1							1
		スペイン語初級 II	1後	1							1	
		スペイン語中級 I	2前	1							1	
		スペイン語中級 II	2後	1							1	
		中国語 I	1前-後	1							2	
		中国語 II	2前-後	1							3	
		中国語 III	2前-後	1							1	
		中国語 IV	2前-後	1							1	
		中国語検定初級 I	1前	1							1	
		中国語検定初級 II	1後	1							1	
		中国語検定中級 I	2前	1							1	
		中国語検定中級 II	2後	1							1	
		ロシア語初級 I	2前	1							1	
		ロシア語初級 II	2後	1							1	
		ロシア語中級 I	2前	1							1	
		ロシア語中級 II	2後	1							1	
		韓国語初級 I	1前	1							1	
		韓国語初級 II	1後	1							1	
		韓国語中級 I	2前	1							1	
		韓国語中級 II	2後	1							1	
		保健体育科目	健康運動実習 I	1前	1							1
		健康運動実習 II	1後	1							1	
		スポーツ実習	2前	1							3	
		情報処理科目	情報処理入門 I	1前	2							1
情報処理入門 II	2後	2							1			
情報基礎	1後	2			1							
大学「奈良」女子大学入門	1前	2							1			
考える力をみがく	2後	2							1			
これからの社会で生きるために	3通	1							3			
語学への誘い	1前-後	1							1			
パサージュ	1前	1							15			
人文学	アジア学入門	1前	2							7		
人間と文化	アラビアの言語と文化	1後	2						1			
ベトナムの言語と文化	1後	2							1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					小計
			1	2	3	1	2	3	4	5	
教養教育科目	人間と文化	哲学の歴史	1後	2							1
		現代の倫理	1前	2							1
		現代東洋学への招待	1前	2							1
		心の科学への招待	1前	2							1
		社会と文化の心理学	1後	2							1
		歴史学	1前	2							3
		日本の言語と文学	1前	2							1
		ことばのしくみ	1前	2							1
		ことばと文化(未開講)	1前	2							1
		西洋の言語と文化	1後	2							1
		日本の美と芸術	1前	2							1
		西洋の美と芸術	1後	2							1
		音楽概説	1後	2							1
		地域の人と暮らし	1前	2							1
	人類史	1前	2							5	
	考古科学ゼミ(未開講)	1前	2							1	
	古典を読むA	3後	2							1	
	古典を読むB	3後	2							1	
	環太平洋くらしお文化論	1後	2							6	
	自然環境の地理学	1後	2							1	
	自然環境の地理学	1前	2							1	
	生活と社会	日本国憲法	1前	2							1
		人権と差別	1後	2							7
		ジェンダー論入門	2	2							7
		文化と民族	1後	2							1
		なら学	1前	2							8
		なら学+(プラス)	1後	2							1
		社会学	1後	2							1
		法律学	1前	2							1
政治学		1前	2							1	
国際関係論		1後	2							1	
経済学		1後	2							1	
女性リーダー論		1前	2							1	
女性リーダーシップ演習		1後	2							1	
奈良を知る		1後	1							1	
人間と自然		いのちと健康	1前	2							1
	生活と健康	1後	2							1	
	共生科学	1後	2		1					4	
	共生科学(修論を含む)	3前	1							4	
	教養としての自然科学A	3前	1							5	
	教養としての自然科学B	3後	1							5	
	アメリカ学生研修SEASON	1選	2							4	
	数学入門	1後	2							1	
	生活の中の物理学	1後	2							2	
	化学の常識	1後	2		1					1	
	環境と生物	1後	2							1	
	教養としての化学数学	3前	1							1	
	ジェンダー生物学	1前	2							1	
	固体地球環境学入門	1後	2							1	
	科学史	1後	2							1	
	生活と色彩	1前	2							1	
	健康・スポーツ科学	1後	2							6	
	生命・運動・健康	1前	2							5	
	人体科学	1後	2		2			1		1	
ベーシックサイエンスI	1前	2							3		
ベーシックサイエンスII	1後	2							1		
小計(108科目)	--	2	163	0	3	0	1	0	0	137	
工学部専門教育科目	基幹必修科目	微分積分	1								1
		線形代数	1								1
		確率・統計	1								1
		情報学概論	2								1
		プログラミング基礎	2				1				1
		プログラミング実践	2				1				1
		電子工学	2				1				1
		計測工学概論	1				1				1
		機械工学概論	1								1
		先端設計生産工学	1								1
		生体基礎	1		1						1
		物理基礎	1								1
		化学基礎	1		1						1
		創造とデザインの理	1		1						1
	造形基礎演習I	2			3					2	
	自己プロデュースI	1								1	
	自己プロデュースII	1								1	
	批判的思考I	2								9	
	技術者倫理	2								1	
	エンジニアリングビ	1			1					1	
	エンジニアリング演	1			1					1	
	価値創造体験演習	1			2					1	
	小計(22科目)	--	29	0	0	7	1	1	0	0	18
	基幹発展科目	応用線形代数(未開講)	2								1
		多変量解析	1								1
		離散数学(未開講)	2								1
		アナログ回路(未開講)	1		1						1
		デジタル回路(未開講)	1		1						4
		知能ロボット	2								4
技術史		1		1						2	
人間工学(未開講)		2		1						2	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					小計	
			1	2	3	1	2	3	4	5		
教養教育科目	人間と文化	哲学の歴史	1後	2								1
		現代の倫理	1前	2								1
		現代東洋学への招待	1前	2								1
		心の科学への招待	1前	2								1
		社会と文化の心理学	1後	2								1
		歴史学	1前	2								3
		日本の言語と文学	1前	2								1
		ことばのしくみ(未開講)	1前	2								1
		ことばと文化	1前	2								1
		西洋の言語と文化(未開講)	1後	2								1
		日本の美と芸術	1前	2								1
		西洋の美と芸術	1後	2								1
		音楽概説	1後	2								1
		地域の人と暮らし	1前	2								1
	人類史	1前	2								5	
	考古科学ゼミ	1前	2								1	
	古典を読むA	3後	2								1	
	古典を読むB	3後	2								1	
	環太平洋くらしお文化論	1後	2								7	
	自然環境の地理学	1後	2								1	
	自然環境の地理学	1前	2								1	
	生活と社会	日本国憲法	1前	2								1
		人権と差別	1後	2				2				6
		ジェンダー論入門	1前	2								6
		文化と民族	1後	2								1
		なら学	1前	2								8
		なら学+(プラス)	1後	2								1
		社会学	1後	2								1
		法律学	1前	2								1
政治学		1前	2								1	
国際関係論		1後	2								1	
経済学		1後	2								1	
女性リーダー論		1前	2								1	
女性リーダーシップ演習		1後	2								1	
奈良を知る		1後	1								1	
人間と自然		いのちと健康	1前	2								1
	生活と健康	1後	2								1	
	共生科学	1後	2			1					4	
	共生科学(修論を含む)	3前	1								4	
	教養としての自然科学A	3前	1								5	
	教養としての自然科学B	3後	1								5	
	アメリカ学生研修SEASON	1選	2								4	
	数学入門	1後	2								1	
	生活の中の物理学	1後	2								2	
	化学の常識	1後	2			1					1	
	環境と生物	1後	2								1	
	教養としての化学数学	3前	1								1	
	ジェンダー生物学	1前	2								1	
	固体地球環境学入門	1後	2								1	
	科学史	1後	2								1	
	生活と色彩	1前	2								1	
	健康・スポーツ科学	1後	2								6	
	生命・運動・健康	1前	2								5	
	人体科学	1後	2			2		1			1	
ベーシックサイエンスI	1前	2								3		
ベーシックサイエンスII	1後	2								1		
小計(104科目)	--	2	201	0	5	0	1	0	0	120		
工学部専門教育科目	基幹必修科目	微分積分	1									1
		線形代数	1									1
		確率・統計	1									1
		情報学概論	2									1
		プログラミング基礎	2						1			1
		プログラミング実践	2						1			1
		電子工学	2						1			1
		計測工学概論	1						1			1
		機械工学概論	1									1
		先端設計生産工学	1									3
		生体基礎	1						1			2
		物理基礎	1									1
		化学基礎	1						1			1
		創造とデザインの理	1						1			1
	造形基礎演習I	2						3			2	
	自己プロデュースI	1									1	
	自己プロデュースII	1									1	
	批判的思考I	2						1			7	
	技術者倫理	2									1	
	エンジニアリングビ	1						1			1	
	エンジニアリング演	1						1	1		1	
	価値創造体験演習											

卒業要件及び履修方法	卒業要件及び履修方法
<p>【教養教育科目】30単位以上</p> <p>1. 基礎科目群 12単位以上(下記を含む)</p> <p>(a)外国語科目 8単位必修(英語、ドイツ語、フランス語、中国語から8単位。ただし、英語は4単位以上)</p> <p>※各英語科目については、前後期各1単位、合計2単位まで履修できる。</p> <p>(b)保健体育科目 2単位必修(「健康運動実習Ⅰ」1単位、「健康運動実習Ⅱ」1単位)</p> <p>※編入学生については、「スポーツ実習」の単位で代えることができる。</p> <p>2. 教養科目群 18単位以上</p> <p>なお、基礎科目群で12単位を超過した単位は教養科目群の単位に代えることができる。</p> <p>【工学部専門教育科目】80単位以上</p> <p>3. 基幹科目群 42単位以上(下記を含む)</p> <p>(a)基幹必修科目 29単位(必修)</p> <p>(b)基幹発展科目 13単位以上</p> <p>4. 専門科目群 38単位以上(下記を含む)</p> <p>専門基礎科目、専門応用科目から38単位以上(下記を含む)</p> <p>(a)「コンテンプチュアルデザイン演習(PBL)」、「ユーザー指向開発演習(PBL)」、「社会改善起業演習(PBL)」から2科目4単位以上選択必修</p> <p>(b)「プレゼミナール」2単位必修</p> <p>(c)「卒業研究Ⅰ」、「卒業研究Ⅱ」、「卒業研究Ⅲ」各3単位 計9単位必修</p> <p>5. 卒業単位 124単位以上</p> <p>上記教養教育科目30単位以上、工学部専門教育科目80単位以上を含め、124単位以上を卒業要件とする。</p> <p>なお、他学部開講科目及び他大学開講科目で履修を許可され修得した単位については、卒業要件に算入できるのは14単位以内とする。</p> <p>(履修科目の登録上限 48単位(年間))</p>	<p>【教養教育科目】30単位以上</p> <p>1. 基礎科目群 12単位以上(下記を含む)</p> <p>(a)外国語科目 8単位必修(英語、ドイツ語、フランス語、中国語から8単位。ただし、英語は4単位以上)</p> <p>※各英語科目については、前後期各1単位、合計2単位まで履修できる。</p> <p>(b)保健体育科目 2単位必修(「健康運動実習Ⅰ」1単位、「健康運動実習Ⅱ」1単位)</p> <p>※編入学生については、「スポーツ実習」の単位で代えることができる。</p> <p>2. 教養科目群 18単位以上</p> <p>なお、基礎科目群で12単位を超過した単位は教養科目群の単位に代えることができる。</p> <p>【工学部専門教育科目】80単位以上</p> <p>3. 基幹科目群 42単位以上(下記を含む)</p> <p>(a)基幹必修科目 29単位(必修)</p> <p>(b)基幹発展科目 13単位以上</p> <p>4. 専門科目群 38単位以上(下記を含む)</p> <p>専門基礎科目、専門応用科目から38単位以上(下記を含む)</p> <p>(a)「コンテンプチュアルデザイン演習(PBL)」、「ユーザー指向開発演習(PBL)」、「社会改善起業演習(PBL)」から2科目4単位以上選択必修</p> <p>(b)「プレゼミナール」2単位必修</p> <p>(c)「卒業研究Ⅰ」、「卒業研究Ⅱ」、「卒業研究Ⅲ」各3単位 計9単位必修</p> <p>5. 卒業単位 124単位以上</p> <p>上記教養教育科目30単位以上、工学部専門教育科目80単位以上を含め、124単位以上を卒業要件とする。</p> <p>なお、他学部開講科目及び他大学開講科目で履修を許可され修得した単位については、卒業要件に算入できるのは14単位以内とする。</p> <p>(履修科目の登録上限 48単位(年間))</p>

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。

(1) ②授業科目目表に関する変更内容

【令和4年度】

- 教育課程充実のため、教養教育科目以下の科目を追加。
 - 「中国語検定初級Ⅰ」「中国語検定初級Ⅱ」「中国語検定中級Ⅰ」「中国語検定中級Ⅱ」「スペイン語初級Ⅰ」「スペイン語初級Ⅱ」「スペイン語中級Ⅰ」「スペイン語中級Ⅱ」「ロシア語初級Ⅰ」「ロシア語初級Ⅱ」「ロシア語中級Ⅰ」「ロシア語中級Ⅱ」「韓国語初級Ⅰ」「韓国語初級Ⅱ」「韓国語中級Ⅰ」「韓国語中級Ⅱ」「考え方をみがく」「語学への誘い」「部落史と部落問題」「ベトナムの言語と文化」「哲学の歴史」「現代宗教学への招待」「心の科学への招待」「社会と文化の心理学」「西洋の言語と文化」「西洋の美と芸術」「音楽概説」「地域の人と暮らし」「自然環境の地理学」「奈良と教育—ここはどこ？私はず？」「文化と民族」「法律学」「政治学」「国際関係論」「経済学」「女性リーダー論」「女性リーダーシップ演習」「奈良を知る」「社会に出るまで知っておきたい科学Ⅰ」「教養としての自然科学」「教養としての自然科学Ⅱ」「アメリカ学生研修SEASo」「数学入門」「教養としての化学学」「ジェンダー生理学」「固体地球環境学入門」「科学史」「生活と色彩」「ペーシックサイエンスⅠ」「ペーシックサイエンスⅡ」
- 教育課程充実のため、専門教育科目に「生体力学」「電気化学」を追加。
- 科目内容に則した名称とするため、「古典を読むⅠ」「古典を読むⅡ」を「古典を読むA」「古典を読むB」に変更。
- 科目内容に則した名称とするため、「環境人間工学演習」を「環境人間工学実習」に変更。
- 教育内容の充実を図るため、「コンプリヘンシブ・イングリッシュ」の専任教員等の配置を、「兼1」から「兼6」に変更。
- 教育内容の充実を図るため、「プラクティカル・イングリッシュ」の専任教員等の配置を、「兼1」から「兼10」に変更。
- 教育内容の充実を図るため、「アカデミック・イングリッシュ」の専任教員等の配置を、「兼1」から「兼2」に変更。
- 教育内容の充実を図るため、「フランス語ⅠB」の専任教員等の配置を、「兼1」から「兼2」に変更。
- 教育内容の充実を図るため、「中国語Ⅰ」の専任教員等の配置を、「兼1」から「兼2」に変更。
- 教育内容の充実を図るため、「情報処理入門Ⅰ」の専任教員等の配置を、「兼1」から「兼3」に変更。
- 教育内容の充実を図るため、「これからの社会で生きるために」の専任教員等の配置を、「兼1」から「兼3」に変更。
- 教育内容の充実を図るため、「ハガーシュ」の専任教員等の配置を、「兼1」から「兼17」に変更。
- 教育内容の充実を図るため、「アジア学入門」の専任教員等の配置を、「兼1」から「兼8」に変更。
- 教育内容の充実を図るため、「歴史学」の専任教員等の配置を、「兼1」から「兼3」に変更。
- 教育内容の充実を図るため、「人類史」の専任教員等の配置を、「兼1」から「兼5」に変更。
- 教育内容の充実を図るため、「環太平洋くろしお文化論」の専任教員等の配置を、「兼1」から「兼6」に変更。
- 教育内容の充実を図るため、「人権と差別」の専任教員等の配置を、「兼1」から「兼7」に変更。
- 教育内容の充実を図るため、「ジェンダー論入門」の専任教員等の配置を、「兼1」から「兼7」に変更。
- 教育内容の充実を図るため、「なら学」の専任教員等の配置を、「兼1」から「兼8」に変更。
- 教育内容の充実を図るため、「共生科学」の専任教員等の配置を、「教授1」から「教授1、兼4」に変更。
- 教育内容の充実を図るため、「生活の中の物理学」の専任教員等の配置を、「兼1」から「兼2」に変更。
- 教育内容の充実を図るため、「健康・スポーツ科学」の専任教員等の配置を、「兼1」から「兼6」に変更。
- 教育内容の充実を図るため、「生命・運動・健康」の専任教員等の配置を、「兼1」から「兼5」に変更。
- 学生の受講便宜を図るため、「ことばのしくみ」を「後期」から「前期」に変更。
- 担当教員の昇任により、「人体科学」の専任教員等の配置を、「教授1、准教授1、助教1」から「教授2、講師1」に変更。
- 担当教員の昇任により、「電子工学」の専任教員等の配置を、「講師1」から「准教授1」に変更。
- 担当教員の昇任により、「計測工学概論」の専任教員等の配置を、「講師1」から「准教授1」に変更。
- 担当教員の昇任により、「造形基礎演習Ⅰ」の専任教員等の配置を、「教授2、准教授1」から「教授3」に変更。
- 担当教員の昇任により、「エンジニアリング演習(PBL)」の専任教員等の配置を、「教授1、講師1」から「教授1、准教授1」に変更。
- 担当教員の昇任により、「価値創造体験演習(PBL)」の専任教員等の配置を、「教授1、准教授1、兼1」から「教授2、兼1」に変更。
- 担当教員の昇任により、「造形基礎演習Ⅱ」の専任教員等の配置を、「教授1、兼2」から「教授2、兼2」に変更。
- 担当教員の昇任により、「センサ工学」の専任教員等の配置を、「教授1、講師1」から「教授1、准教授1」に変更。
- 担当教員の昇任により、「医工学概論」の専任教員等の配置を、「教授1、准教授1」から「教授2」に変更。
- 担当教員の昇任により、「認知神経科学」の専任教員等の配置を、「准教授1」から「教授1」に変更。
- 担当教員の昇任により、「生体計測基礎実習」の専任教員等の配置を、「教授2、准教授1、助教1」から「教授3、講師1」に変更。
- 担当教員の昇任により、「都市・建築デザイン学」の専任教員等の配置を、「准教授1」から「教授1」に変更。
- 担当教員の昇任により、「コンピュータルデザイン演習(PBL)」の専任教員等の配置を、「教授1、准教授1、兼1」から「教授2、兼1」に変更。
- 担当教員の昇任により、「社会改善起業演習(PBL)」の専任教員等の配置を、「教授1、准教授1、兼2」から「教授2、兼2」に変更。
- 担当教員の昇任により、「五感情報設計演習」の専任教員等の配置を、「講師1」から「准教授1」に変更。
- 担当教員の昇任により、「ヘルスプロモーション」の専任教員等の配置を、「准教授1」から「教授1」に変更。
- 担当教員の昇任により、「ヒューマンキネティクス」の専任教員等の配置を、「助教1」から「講師1」に変更。
- 担当教員の昇任により、「生体医学演習」の専任教員等の配置を、「教授1、准教授1、助教1」から「教授2、講師1」に変更。
- 担当教員の昇任により、「建築都市発展演習Ⅰ」及び「建築都市発展演習Ⅱ」の専任教員等の配置を、「教授1、准教授1」から「教授2」に変更。
- 担当教員の採用により、「物理化学」の専任教員等の配置を、「教授1」から「准教授1」に変更。
- 担当教員の採用及び昇任により、「フレゼミナール」の専任教員等の配置を、「教授8、准教授3、講師2、助教1」から「教授10、准教授3、講師2」に変更。
- 担当教員の採用及び昇任により、「卒業研究Ⅰ」、「卒業研究Ⅱ」、「卒業研究Ⅲ」の専任教員等の配置を、「教授8、准教授3、講師2、助教1」から「教授10、准教授3、講師2」に変更。
- 実習先での受け入れ可能人数変更に伴う授業回数(15回から8回へ)変更のため、「先端設計生産工学実習Ⅰ」の単位数を「2」から「1」へ変更。

【令和5年度】

- 教育課程充実のため、教養教育科目以下の科目を追加。
 - 「情報基礎」「統計学」
- 教育課程充実のため、専門教育科目に「有機化学演習」を追加。
- 教育内容の充実を図るため、「ドイツ語ⅠA」の専任教員等の配置を、「兼1」から「兼2」に変更。
- 教育内容の充実を図るため、「ドイツ語ⅡA」の専任教員等の配置を、「兼1」から「兼2」に変更。
- 教育内容の充実を図るため、「フランス語ⅠA」の専任教員等の配置を、「兼1」から「兼2」に変更。
- 教育内容の充実を図るため、「中国語Ⅱ」の専任教員等の配置を、「兼1」から「兼3」に変更。
- 教育内容の充実を図るため、「スポーツ実習」の専任教員等の配置を、「兼1」から「兼3」に変更。
- 教育内容の充実を図るため、「環太平洋くろしお文化論」の専任教員等の配置を、「兼6」から「兼7」に変更。
- 教育内容の充実を図るため、「人権と差別」の専任教員等の配置を、「兼7」から「教授2、兼6」に変更。
- 教育内容の充実を図るため、「先端設計生産工学概論」の専任教員等の配置を、「兼1」から「兼3」に変更。
- 教育内容の充実を図るため、「物理基礎」の専任教員等の配置を、「兼1」から「兼2」に変更。
- 教育内容の充実を図るため、「先端設計生産工学実習Ⅰ」の専任教員等の配置を、「兼1」から「兼3」に変更。
- 科目編成の見直し等のため、「フランス語ⅠB」の専任教員等の配置を、「兼2」から「兼1」に変更。
- 科目編成の見直し等のため、「健康運動実習Ⅰ」の専任教員等の配置を、「兼2」から「兼1」に変更。
- 科目編成の見直し等のため、「健康運動実習Ⅱ」の専任教員等の配置を、「兼2」から「兼1」に変更。
- 科目編成の見直し等のため、「語学への誘い」の専任教員等の配置を、「兼10」から「兼1」に変更。
- 科目編成の見直し等のため、「ハガーシュ」の専任教員等の配置を、「兼1」から「兼15」に変更。
- 科目編成の見直し等のため、「アジア学入門」の専任教員等の配置を、「兼6」から「兼7」に変更。
- 科目編成の見直し等のため、「ジェンダー論入門」の専任教員等の配置を、「兼7」から「兼6」に変更。
- 科目編成の見直し等のため、「批判的思考Ⅰ」の専任教員等の配置を、「兼9」から「兼7」に変更。
- 科目編成の見直し等のため、「批判的思考Ⅱ」の専任教員等の配置を、「兼7」から「兼6」に変更。
- 担当教員の採用により、「有機・無機化学実験」の専任教員等の配置を、「教授1」から「教授1、助教1」に変更。
- 担当教員の採用により、「フレゼミナール」の専任教員等の配置を、「教授10、准教授3、講師2」から「教授10、准教授3、講師2、助教1」に変更。
- 担当教員の採用により、「卒業研究Ⅰ」、「卒業研究Ⅱ」、「卒業研究Ⅲ」の専任教員等の配置を、「教授10、准教授3、講師2」から「教授10、准教授3、講師2、助教1」に変更。

【令和6年度】

- 教育課程充実のため、専門教育科目以下の科目を追加。
 - 「建築一般構造学」「建築施工学」「建築構造力学」「建築生産学」「建築法規」
- 学生の受講便宜を図るため、「有機工業化学」「環境人間工学実習」「生体機能学」を「後期」から「前期」に変更。
- 学生の受講便宜を図るため、「物理化学実験」「社会改善起業演習(PBL)」「先端設計生産工学実習Ⅱ」を「前期」から「後期」に変更。
- 教育内容の充実を図るため、「中国語Ⅰ」の専任教員等の配置を、「兼2」から「兼3」に変更。
- 教育内容の充実を図るため、「健康運動実習Ⅰ」の専任教員等の配置を、「兼1」から「兼6」に変更。
- 教育内容の充実を図るため、「健康運動実習Ⅱ」の専任教員等の配置を、「兼1」から「兼6」に変更。
- 教育内容の充実を図るため、「ハガーシュ」の専任教員等の配置を、「兼15」から「兼16」に変更。
- 教育内容の充実を図るため、「古典を読むA」の専任教員等の配置を、「兼1」から「兼3」に変更。
- 教育内容の充実を図るため、「人体科学」の専任教員等の配置を、「教授2、講師1、兼3」から「教授2、講師1、兼1」に変更。
- 教育内容の充実を図るため、「先端設計生産工学概論」の専任教員等の配置を、「兼3」から「兼5」に変更。
- 教育内容の充実を図るため、「先端設計生産工学実習Ⅰ」の専任教員等の配置を、「兼3」から「兼5」に変更。
- 教育内容の充実を図るため、「先端設計生産工学実習Ⅱ」の専任教員等の配置を、「兼3」から「兼5」に変更。
- 科目編成の見直し等のため、「これからの社会で生きるために」の専任教員等の配置を、「教授1、兼3」から「教授1、兼1」に変更。
- 科目編成の見直し等のため、「アジア学入門」の専任教員等の配置を、「兼7」から「兼5」に変更。
- 科目編成の見直し等のため、「歴史学」の専任教員等の配置を、「兼3」から「兼1」に変更。
- 科目編成の見直し等のため、「人類史」の専任教員等の配置を、「兼5」から「兼1」に変更。
- 科目編成の見直し等のため、「環太平洋くろしお文化論」の専任教員等の配置を、「兼7」から「兼6」に変更。
- 科目編成の見直し等のため、「人権と差別」の専任教員等の配置を、「教授2、兼6」から「教授2、兼2」に変更。
- 科目編成の見直し等のため、「ジェンダー論入門」の専任教員等の配置を、「兼6」から「兼5」に変更。
- 科目編成の見直し等のため、「なら学」の専任教員等の配置を、「兼8」から「兼5」に変更。
- 科目編成の見直し等のため、「社会に出るまで知っておきたい科学Ⅰ」の専任教員等の配置を、「兼4」から「兼1」に変更。
- 科目編成の見直し等のため、「アメリカ学生研修SEASo」の専任教員等の配置を、「教授1、兼4」から「教授1、兼1」に変更。
- 科目編成の見直し等のため、「生活の中の物理学」の専任教員等の配置を、「兼2」から「兼1」に変更。
- 科目編成の見直し等のため、「ペーシックサイエンスⅠ」の専任教員等の配置を、「兼3」から「兼1」に変更。

(注) ②(1) ③ 授業科目目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
28 科目	124 科目	0 科目	152 科目	28 科目 [0]	180 科目 [56]	0 科目 [0]	208 科目 [56]	(記入例：指定規則の場合) 【旧カリキュラム】 設置時の計画：必修○科目、選択○科目、自由○科目、 計(A)○科目 変更状況：必修○科目、選択○科目、自由○科目、 計○科目

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	ことばと文化	2	1	一般	選択	隔年開講のため
2	考古学ゼミ	2	1	一般	選択	隔年開講のため

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
						該当なし

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講科目については全て隔年開講による計画的なものであり、令和7年度に開講することから学生の履修への影響は特にないと考えている。
 学生への周知方法に関しては、学生向け履修案内冊子（全学教育ガイド）に記載している他、学期始めに実施されるガイダンスにおいて周知されている。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{2}{152} = \boxed{1.31} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体 その他には附属学校等 敷地を含む。			
	校舎敷地	66,081㎡	0㎡	0㎡	66,081㎡				
	運動場用地	10,179㎡	0㎡	0㎡	10,179㎡				
	小 計	76,260㎡	0㎡	0㎡	76,260㎡				
	そ の 他	104,050㎡	0㎡	0㎡	104,050㎡				
	合 計	180,310㎡	0㎡	0㎡	180,310㎡				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体 新築したため(4)				
	59,979 59,605㎡ (59,979 59,605㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	59,979 59,605㎡ (59,979 59,605㎡)					
(3) 教 室 等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	41室	58室	147室	6室 (補助職員 0人)	4室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			令和4年4月 専任准教授1名を新規 採用のため(4) 令和5年4月 専任助教1名を新規 採用のため(5)			
	工学部 工学科		17 16 15 室						
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学部単位での特定が不 能なため、大学全体の 数 図書等の新規受入並び に廃棄のため (4) (5) (6)	
	工学部 工学科	597,704 [162,389] 586,458 [160,602]	18,969 [6,349] 18,246 [6,385]	3,703 [3,703] 3,751 [3,751]	11,226 11,148	1,652 1,616 1,563 (1,447)	161		
		(599,203 [163,147]) 4508,771 -(162,877) → 4597,704 -(162,389) → 4586,458 -(160,602) →	(19,270 [6,445]) (19,107 [6,345]) → (18,969 [6,349]) → (18,246 [6,385]) →	(3,766 [3,766]) (3,698 [3,698]) → (3,703 [3,703]) → (3,751 [3,751]) →	(11,277) (11,265) (11,266) (11,148)	1,652 1,616 1,563 (1,447)	(161)		
		597,704 [162,389] 586,458 [160,602]	18,969 [6,349] 18,246 [6,385]	3,703 [3,703] 3,751 [3,751]	11,226 11,148	1,652 1,616 1,563 (1,447)	161		
		(599,203 [163,147]) 4508,771 -(162,877) → 4597,704 -(162,389) → 4586,458 -(160,602) →	(19,270 [6,445]) (19,107 [6,345]) → (18,969 [6,349]) → (18,246 [6,385]) →	(3,766 [3,766]) (3,698 [3,698]) → (3,703 [3,703]) → (3,751 [3,751]) →	(11,277) (11,265) (11,266) (11,148)	1,652 1,616 1,563 (1,447)	(161)		
計	597,704 [162,389] 586,458 [160,602]	18,969 [6,349] 18,246 [6,385]	3,703 [3,703] 3,751 [3,751]	11,226 11,148	1,652 1,616 1,563 (1,447)	161			
(6) 図 書 館	面 積		閲覧座席数		取 納 可 能 冊 数		大学全体 改修工事に伴い、閲覧 席・書架を増設した。 (4)		
	4,523㎡		175 159		509,831 488,253				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					大学全体	
	1,822㎡		テニスコート3面			弓道場			
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費による
		教員1人当り研究費等	—	—	図書購入費	—	—	—	
		共同研究費等	—	—	設備購入費	—	—	—	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	—	
		—	—	—	—	—	—	—	
学生納付金以外の維持方法の概要		—							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA C対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	〇〇大学						収容定員充足率0.7倍以下の学科数	2	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	2	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考
文学部	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	奈良県奈良市北魚屋西町	
人文社会学科	4	60	-	240	学士(文学)	1.10	1.10	-	昭和24	同上	学部で一括募集しているため、学科別入学者数は定員で按分し算出している。
言語文化学科	4	50	-	200	学士(文学)	1.07	1.07	-	平成7	同上	
人間科学科	4	40	-	160	学士(文学)	1.10	1.10	-	平成7	同上	
(学部共通)			3年次 16	32		-	-	-			
理学部					学士(理学)	1.06	1.06	-	昭和28	奈良県奈良市北魚屋西町	
数物科学科	4	57	-	240	学士(理学)	1.05	1.05	-	平成26	同上	
化学生物環境学科	4	78	-	330		1.07	1.07	-	平成26	同上	
(学部共通)			3年次 10	20		-	-	-			
生活環境学部						1.11	1.11	-	平成5	奈良県奈良市北魚屋西町	
食物栄養学科	4	35	-	140	学士(生活環境学)	1.09	1.09	-	平成17	同上	
心身健康学科	4	35	-	150	学士(生活健康科学)	1.16	1.16	-	平成26	同上	
情報環境学科	4	-	-	70	学士(生活環境学)	-	-	-	平成26	同上	令和4年度から学生募集停止
住環境学科	4	30	-	130	学士(生活環境学)	1.15	1.15	-	平成18	同上	
生活文化学科	4	-	-	60	学士(生活環境学)	-	-	-	平成18	同上	令和4年度から学生募集停止
文化情報学科 生活文化学コース	4	30	-	60	学士(生活環境学)	1.06	1.06	-	令和4	同上	
文化情報学科 生活情報学コース	4	15	-	30	学士(生活環境学)	1.16	1.16	-	令和4	同上	
(学部共通) (食物栄養学除く)			3年次 4	8		-	-	-			令和6年度より編入学生受入開始
工学部									令和4	奈良県奈良市北魚屋西町	
工学科	4	45	-	90	学士(工学)	1.06	1.06	-	令和4	同上	
(学部共通)			3年次 10	20		-	-	-			令和6年度より編入学生受入開始
大学全体	4	475	3年次 40	1980	-	1.09	1.09	-			

(注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
 ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。
 ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 ・「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
 ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和4年度】

- 令和2年4月 西村さとみ准教授、星野聡子准教授、山崎明子准教授 教授昇任
- 令和3年4月 佐藤克成講師 准教授昇任（令和4年2月教員審査済）
- 令和3年4月 田中希生助教 准教授昇任
- 令和4年4月 矢島洋一准教授 教授昇任
- 令和4年4月 中田大貴准教授、長田直之准教授 教授昇任（令和4年2月教員審査済）
- 令和4年4月 大高千明助教 講師昇任（令和4年2月教員審査済）
- 令和4年4月 山本健太郎准教授 着任（令和4年2月教員審査済）
- 他大学転出又は定年退職のため、以下の教員を変更
(兼任) 小川英巳、西出良郎、千田春彦
- 教養教育科目の充実のため、以下の教員を追加
(兼任)
市川千恵子、内田忠賢、小川伸彦、小倉裕範、小林毅、酒井敦、篠田正人、須賀あゆみ、鈴木康史、全有耳、高須夫悟、高田将志、高橋智彦、竹本憲昭、中澤静男、中島隆行、西村雄一郎、根本哲夫、林田敏子、藤平真紀子、宮林謙吉、村松加奈子、森藤紳哉、山下靖、山本一樹、遊佐陽一、吉田容子、吉村倫一、大伏雅士、伊達桃子、浅田晴久、安藤（長瀬）香織、石坂友司、井上邦子、岩口伸一、鴨浩靖、北山聡佳、黒川（長田）嘉子、佐藤宏明、澤田佳世、三部倫子、杉浦（松尾）真由美、高島弘、中山留美子、信川正順、松岡由貴、室崎（稲地）千重、保田卓、吉川尚男、高德希、青木美紗、雲島知恵、高田雅美、森田尋子、大賀克彦、浅野友之、瀬戸蘭美、野口克行、蜂谷崇、盛田有貴、上村尚平、金井友希美、斉藤恵美、ハヶ代美佳
(兼任)
青木恵子、芦名裕子、安善姫、飯島雄太郎、伊藤令子、宇埜直子、宇山満、大平美智代、長田明日華、各務奈緒子、柿本佳美、郭真希、金井塚康弘、北口紗織、金幸隆、轟知恵、小松紀子、堺雅志、島津良子、島本太香子、杉本舞、杉山晋平、瀬山紀子、曹偉琴、高岡昌子、竹中章勝、鶴田尚美、戸城杏奈、戸田真紀子、中川統雄、野口理恵、平野綾香、藤田あゆみ、松尾善紀、松岡悦子、松田侑子、松本栄次、村上史朗、森田芳文、山下大輔、吉田容子、吉村智博
- 教養教育科目の充実のため、以下の教員の担当科目を変更
(兼任)
井上洋一、大平幸代、齊藤美和、佐伯和彦、鈴木広光、高岡尚子、寺岡伸祐、西谷地晴美、水垣源太郎、宮路（丸山）淳子、武藤康弘、柳澤有吾、吉田孝夫、吉村あき子（杉浦智子）、大塚浩、小野寺香、今野弘章、中川千帆、西村さとみ、星野聡子、前田真砂美、矢島洋一、山崎明子、田中希生、小路田俊子
- 専門教育科目の充実のため、山本健太郎准教授が担当する「プレゼミナール」「電気化学」「卒業研究Ⅰ」「卒業研究Ⅱ」「卒業研究Ⅲ」を追加。（令和4年2月教員審査済）
- 山本健太郎准教授が着任したことにより、「物理化学」の担当を黒子弘道教授から山本健太郎准教授、「物理化学実験」の担当を大背戸豊准教授から山本健太郎准教授、「無機化学」の担当を三方裕司教授から山本健太郎准教授に担当者変更。（令和4年2月教員審査済）
- 専門教育科目の充実のため、大高千明講師が担当する「生体力学」を追加。（令和4年2月教員審査済）
- 久保博子教授が担当する「環境人間工学演習」を「環境人間工学実習」に名称変更。（令和4年2月教員審査済）

【令和5年度】

- 令和5年4月 蜂谷崇助教、野口克行助教 准教授昇任
- 令和5年4月 青木美紗講師 准教授昇任
- 令和5年4月 石坂友司准教授、大塚浩准教授 教授昇任
- 令和5年4月 庄司淳助教 着任（令和5年2月教員審査済）
- 他大学転出又は定年退職のため、以下の教員を変更
(兼任) 井上洋一、佐伯和彦、山下靖、今野弘章
- 教養教育科目の充実のため、以下の教員を追加
(兼任)
イザベル・トノムラ、浦康之、片野泉、高村仁知、トーマス・ハックナー、野村鮎子、藤原素子、Mark Scott、渡邊利雄、児玉麻美、瀧本栄二、竹橋洋毅、松本有正、村上麻佑子、吉田伸治、許載永、森田俊吾、
(兼任)
石飛学、請田義人、大島佳代、何穎、小島吉之、田中雅子、廣野陽子、祐野恵
- 教養教育科目の充実のため、以下の教員の担当科目を変更
(専任)
藤田盟児、駒谷昇一（令和5年2月教員審査済）
(兼任)
大平幸代、鈴木広光、成瀬九美、水垣源太郎、柳澤有吾、吉田容子、吉村あき子、石坂友司、鴨浩靖、中川千帆、星野聡子、雲島知恵、上村尚平、小路田俊子、斉藤恵美
- 専門教育科目の充実のため、庄司淳助教が担当する「有機化学演習」「有機・無機化学実験」「プレゼミナール」「卒業研究Ⅰ」「卒業研究Ⅱ」「卒業研究Ⅲ」を追加（令和5年2月教員審査済）

【令和6年度】

- 令和6年4月 中川千帆准教授、吉田伸治准教授 教授昇任
- 令和6年4月 高田雅美専任講師 准教授承認
- 他大学転出又は定年退職等のため、以下の教員を変更
(兼任) 小林毅、盛田有貴、城和貴、高田将志、西谷地晴美、武藤康弘、渡邊利雄
- 教養教育科目の充実のため、以下の教員を追加
(兼任)
比連崎 悟、柳沢 卓、磯部 敦、菊崎 泰枝、中島 隆行、岡崎 武生、児島 啓祐、高島 弘、永廣 秀子、堀 沙耶香、前田 英之
(兼任)
伊藤 佳乃子、宇埜 直子、坂井 禎介、笹本 涼子、莊文瀾、竹家 一美、中務 真人、濱崎 雅孝、平塚 卓也、山本 尚子
- 教養教育科目の充実のため、以下の教員の担当科目を変更
(兼任)
市川 千恵子、吉岡 英生、大平 幸代、須賀 あゆみ、鈴木 広光、高村 仁知、竹本 憲昭、西村 雄一郎、藤原 素子、宮林 謙吉、森藤 紳哉、吉岡 英生、吉村 あき子、浅田 晴久、鴨 浩靖、三部 倫子、西村 さとみ、松本 有正、高德 希、大賀 克彦、田中 希生、蜂谷 崇、盛田 有貴、上村 尚平、金井 友希美、小路田 俊子、斉藤 恵美、ハヶ代 美佳、芦名 裕子
(兼任)
請田 義人、大島 佳代、長田 明日華、轟 知恵、祐野 恵
- 専門教育科目の充実のため、以下の教員を追加
(兼任) 久保 嘉彦、野口 元、萩原 宏規、松浦 敏彦、山田 雄基

(注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（A C教員審査）を受けてください。**原則としてA C教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・ A C教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織(学科連係課程実施学科)の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二(短期大学設置基準第三条の二)に基づく「連係協力学部等(連係協力学科)」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等(連係協力学科)ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
14	7
名	名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。

・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在(報告時)の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
9	3	2	1	15	0	11	3	2	1	17	0
(11)	(3)	(2)	(0)	(16)	(0)						
現在(報告時)の完成年度時の状況						現在(報告時)の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
11	3	2	1	17	0	11	3	2	1	17	0
[2]	[0]	[0]	[0]	[2]	[0]	[2]	[0]	[0]	[0]	[2]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。

・ 「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。

・ 「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を要審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、

[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)

・ 「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、

[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(C))の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65	0	
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。

・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{17}{15} = \boxed{113.33} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{0}{17} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区分	附帯事項等	履行状況	今後の実施計画	
認可時 (令和3年)	「環境デザイン分野」について、建築やデザイン、化学といった幅広い分野の授業科目が設定されているが、本分野は、自然や資源の保護や地球環境の保全といった一般的な「環境」の分野とは異なる意味を有するものであると考えられることから、本分野の科目の配置の意図や本分野の名称の理由を学生が十分理解できるように明確に説明するよう努めること。	【意見伺 い】遵守 事項 本学部の「環境」は自然等の地球環境や資源の保護に関係がないことが分かるように、設置審では「環境デザイン分野」として教育範囲を、建築や都市等を学ぶ人間環境エリアと、材料工学を学ぶエリアからなることを、HP・パンフレット・オープンキャンパス等の説明会で明示した。(4)(5)(6)	履行中	
認可時 (令和3年)	本学部では、幅広い分野の科目が配置されているとともに、数学Ⅲや物理といった本分野の基礎的な知識を有していない学生の入学も想定される。学生の学修に当たっては、本学部の教育目標に照らした基礎から応用にかけての知識・技能を滞りなく修得できるように、大学として適切に対応することが重要であり、本学部においても全ての学生に対してチューター教員によるポートフォリオ等を活用したきめ細やかな指導・助言を行うとあるが、学生指導の重要な充実のため、基礎的な科目の必修化や一層の充実、FDの強化をはじめとした学生指導の実効性の確保等について検討し、より充実した学生のサポート体制や仕組みの整備に努めること。特に、3年次編入学生については、2年の修業年限の中で体系的な履修が十分に行えるよう適切な履修指導に努めること。	【意見伺 い】遵守 事項 基幹(必修)科目の数学3科目は博士号をもつ附属中等学校の教員が特任准教授として担当し、プログラミングやエンジニアリング科目はTAを配して基礎科目の指導を充実した。学生全員に専任教員を主担当と副担当に配し、指導力向上のためにFD講習会を開催し、PEPの評価方法を開発している。3年次編入への準備として高等専門学校を訪問しカリキュラムの相互関係を確認して単位互換や履修指導の実質性を確保することに取り組んでいる。(4)(5)(6)	履行中	
認可時 (令和3年)	本学部においては、教育目標に照らし、幅広い分野の科目が配置されていることから、教員に負担がかかることが予想されるため、将来的な専任教員の確保も含め、負担の軽減策やサポート体制の整備に努めること。	【意見伺 い】遵守 事項 教員の負担軽減やサポート体制の充実を図るため、以下のとおり整備した。 ・令和4年4月から専任教員(准教授)1名を新たに配置した。 ・令和4年4月から工作機械の管理や授業のサポートを行う非常勤職員を3名配置した。(4) ・令和5年4月から専任教員(助教)1名を新たに配置した。(5)	履行済	

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(学校法人の寄附行為又は審附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和5年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「(5)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(6)」と記載してください。

【令和5年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「(5)(6)」と記載してください。

【令和6年度から新たに調査対象となった学科等又は令和5年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(6)」と記載してください。

・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。

その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。

・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。

・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。

・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<工学部 工学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見直しなど
該当なし	

(注)・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD・SD活動含む)

① 実施体制
工学部ファカルティ・ディベロップメント委員会
b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)
年数回開催
c 委員会の審議事項等
FDの基本方針に関すること
FDの実施及び実施体制に関すること
FDの評価に関すること
その他FDに関すること

② 実施状況
a 実施内容
・工学部FD活動の作成
・コーチング実習を含むFD講習会の実施
・PEPAの評価法を開発中
b 実施方法
工学部にて適宜開催する。遠隔(web)又は実際に集まり議論する予定である。
c 開催状況(教員の参加状況含む)
FD講習会 令和6年1月17日(水) 15:00～16:00(出席者15人)
d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
コミュニケーションスキルをFD講習会により各教員に学んでいただく機会を設け、学生との個人面談に生かしてもらう取組を実施。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
a 実施の有無及び実施時期
工学部専門教育科目を対象として、前期・後期の学期末に授業評価アンケートを実施。
b 教員や学生への公開状況、方法等
アンケート結果を公開し、教員・学生間で共有する予定である。

(注)・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
設置の計画・目的等、設置計画どおりに実施している。今後も引き続き、設置の趣旨・目的に沿って教育・研究活動を計画どおり実施することとしている。

② 自己点検・評価報告書
a 公表(予定)時期
令和6年度 公表予定
b 公表方法
大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画
令和9年度に評価機関(独立行政法人大学改革支援・学位授与機構)による大学機関別認証評価を応募予定である。

(注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書(令和5年度)

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

<aで「有」の場合>
b 公表(予定)時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]
c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他()]

<aで公表「無」の場合>
d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。